今年も島原にパティオがやってくる!!

今年で8回目になります・・・魂の歌声をあなたに!!波動の力で幸せを導く

ハピネスコンサート8

sound wave healer

PATIO IKAUII

2019年 2/10(日)

開場 13:30 開演14:00

島原市有明総合文化会館

全席自由席 2,000円（小・中・高生 1,000円）

【お問い合わせ】松下ひふ科 Tel 0957-62-6556 島原市有明総合文化会館 Tel0957-68-5800

SALE NOW ON

パティオコンサートゲスト special guest

DON ALMAS（ドンアルマス）

激しさと哀愁を合わせ持つスパニッシュギターに様々な音楽要素を融合させ「物語を読んでいるような音楽」と称されたドンアルマス独自の世界観を確立。国際会議の晩餐会や全米桜祭り、アフリカ開発会議レセプションでの演奏をはじめ豪華客船にっぽん丸のエンターテイナーとしても活躍中。

病院案内

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時30分	▲※	●	●	●	●	●
午後 14時30分~18時	▲※	●	●	×	●	×

※第２・第４月曜日が休診になります。

木曜と土曜の午後・日・祝日は休診です。
木曜・土曜の午後やお昼休みに往診・手術が出来ます。(要予約)

松下ひふ科 長崎県島原市新馬場町852-2
〒855-0033 Tel 0957-62-6556
http//taizou.biz/ ブログ:たいぞうの部屋

NO.40 広報 Taizou

PATIO IKAUII

2019.1.12発行

松下ひふ科 MATSUSHITA HIFUKA

■ 先生より

潤君、2回目の登場です。出会って、まだ 2 年半程ですが、私の中にグッと入り込んできている存在です（一生の盟友となるでしょう）。私との出会いで彼は覚醒しました。私に出会う前はほとんど本も読んでいませんでした（笑）。それがどうでしょう･･･、この彼の文章。前世、文官だった事があるのでしょう。今では、私に「先生、この本良かったですよ」とアドバイスをくれます。最近では、漢詩に興味があるとも言っていました（驚）。彼とはよく長電話をするのですが、そこで彼の今回書いた「ポジティブとネガティブ」が時々出てきます。「光と闇」、「明と暗」これらのテーマは仲間達との会話でよく出てきます。「ポジティブとネガティブ」に関しては彼の言っている通りだと思います。強い光を放っている人には必ず闇が近づいてきます。知らない間に、闇に取り込まれていく人、これまで多数見てきました。これらは全て表裏一体です。では、どうすればよいのか。まずは、全てにきちんと向き合う事です。向き合い、理解し、捨てる事です。嫌な事にふたをしない事です。何かの拍子でふたが開き、痛い目に遭います。究極は、どちらにも属さなければよいのです。そう、「空」の状態にいればいいのです。「空」の状態にいる我がメンター（師）スピリット波動協会の棟方興起先生が書いた本『天智口訣　拙問天答』にこう書いてあります。【人間が幸福を追求するのは、基本的に間違いであり、宇宙の基本波長である必波に同調するのが真の幸福状態である】。これは、水の流れのごとく、淡々と、地球の呼吸に合わせて生きていく、というような事かな・・・。わかるかな・・・。きっとわかるはず。

■ 先生のお友達 立和名 潤 さん

2回目の寄稿をさせて頂きます、鹿児島で空調配管業に従事します立和名 潤（タチワナ ジュン）と申します。2018 年も天変地異の多い年でありました。地球が自らの形を変え、再生を促している･･･そのようにも感じられる出来事ばかりだったように思います。そう考えますと、自然も人間も「変化・変容」を求められているように感じます。そんな中、最近よく考えることがあります。それは、「ポジティブとネガティブ」についてです。みなさんは「ポジティブ･ネガティブ」と聞くと、どのような印象があるでしょうか?
世間では「ネガティブは良くない!ポジティブでいこう!」、「病んでるからネガティブな事を言う」などの風潮があると思います。辞典で調べますと「ネガティブ」（消極的・否定的）、「ポジティブ」（積極的・実証的）とあります。世間的にざっくり言うと「良いものと悪いもの」、辞典では状況を表現する言葉です。そこで思います。果たして本当に「ポジティブ（良い）」「ネガティブ（悪い）」であるのか?ということです。

ポジティブを名乗りお祭り騒ぎをする人、SNS など匿名で我こそは正義を謳う人、ほかにも様々ありますが、本当にこの人達はポジティブなのでしょうか。
外へ出ず暗く籠っている人、何に対しても否定的で自らを堕とす人などなど、本当にこの人達はネガティブなのでしょうか。最近、僕はこの相反するとも思える事柄を、全く一つの事柄と捉えるようになりました。「ポジティブ・ネガティブ」は2つで1セットであって、切り離されるものではありません。陰と陽です。また、単に性格や印象を言うものではなく、『学びのプロセス』のひとつだということです。一人ひとりに必ず「ポジティブ・ネガティブ」があって、精神性や人間性について学ぶ為の現実的教材だと思っています。ネガティブに見える人は、自らの憂い・弱点と向き合い、奥底の陰の部分に焦点を当て明るみにさらすことで、それを克服しようと学んでいるポジティブな行動といえます。

しかし、それだけではしんどいので、時々ガス抜きが必要です。この気軽に行う「ガス抜き」がとても重要で、人との会話であったり、自然の中を散歩する行動であったり、毎日の家事であったり、そんな些細な出来事の中に　ふっ　と心に湧く思いやビジョン、言葉などがあるのです。気付きというものです。
それは、神々から与えられたヒントであって、学びへのギフトです。こうしたことを続けることで、ネガティブを受け入れ手放し、真のポジティブへと転換していきます。

ポジティブを謳う人はどうでしょう?この人達は自身のネガティブ（憂い・弱点）に蓋をし、見て見ぬふりをしています。言葉は悪いですが、いわゆる、あんぽんたんの状態に自分を堕としてポジティブだと思い込んでいます。これほど滑稽なネガティブは無いように思います。向き合わないことで蓋をしたネガティブがどんどん膨れ上がり、いつしか破裂します。あとは上がるだけ!そう思うでしょうが遅すぎます。耐える癖やチカラを蓄えてこなかった人が、それに耐えるだけのものを持っているでしょうか。そうやってポジティブとネガティブの転換がやってきます。またいちから学ぶのです。最初に書いたように、やはり人間も日々「変化・変容」を求められていることがわかります。
さて、松下先生のまわりではどうでしょう。
奇抜な建物（笑）、飾られている絵や書、何はなくとも松下先生をはじめとする院の方々、どれを取っても明るく素晴らしいと感じることでしょう。さしずめ、皮膚科とは到底思えません（笑）しかし、それぞれに克服（学び）の時期があり今がある事も理解できますし、事実だと思います。
素晴らしい指標であってくれる存在の方たちです。
この2019年、自分という唯一無二の存在をさらに「変化・変容」を求め、自分の経験値を人のために利用できるように、もっと学び転換していけるように!
そう自分自身に願いを込めて、毎日を楽しんでいきたいと思います。